

## 関西国際空港における飛行検査の実施について

○国土交通省航空局では、航空機の安全運航を支える航空保安施設等の信頼性を常に確保するため、実際に飛行検査用の航空機を飛行させて「飛行検査・検証」（以下、「飛行検査」という）を実施しています。

○飛行検査は、通常の離着陸ルートだけでなく、検査のため民間航空機等が通常飛行しない特殊なルートを飛行します。また、高度についても低高度で飛行する場合があります。

○他の航空機の離着陸や検査中の地上機器を調整している時は検査が行えないため、検査機はその間旋回しながら待つこととなります。これは頻繁に発生し、旋回時間や待機場所は航空機の離着陸の状況や検査をしている施設の位置、機器の調整内容により異なります。

### 実施計画（令和8年6月分）

予定日	時間	検査施設	使用機材	備考	終了予定日等
R8.6.1～5 R8.6.8～12 R8.6.15～19 R8.6.22～26 R8.6.29～30	9:00～17:00	関西ILS(06L)	C700 又は CJ4	飛行経路は以下をご参照ください。 別紙1[関西(06L)ILS定期検査]	R8.6.30
R8.6.1～5 R8.6.8～12 R8.6.15～19 R8.6.22～26 R8.6.29～30	9:00～17:00	関西ILS(24L)	C700 又は CJ4	飛行経路は以下をご参照ください。 別紙4[関西(24L)ILS定期検査]	R8.6.30

注1) 当日の気象状況により、変更となる場合がございます。  
検査予定日と終了日等については随時更新いたしますのでご確認願います。

注2) 当検査実施に係る問い合わせは以下のとおり。

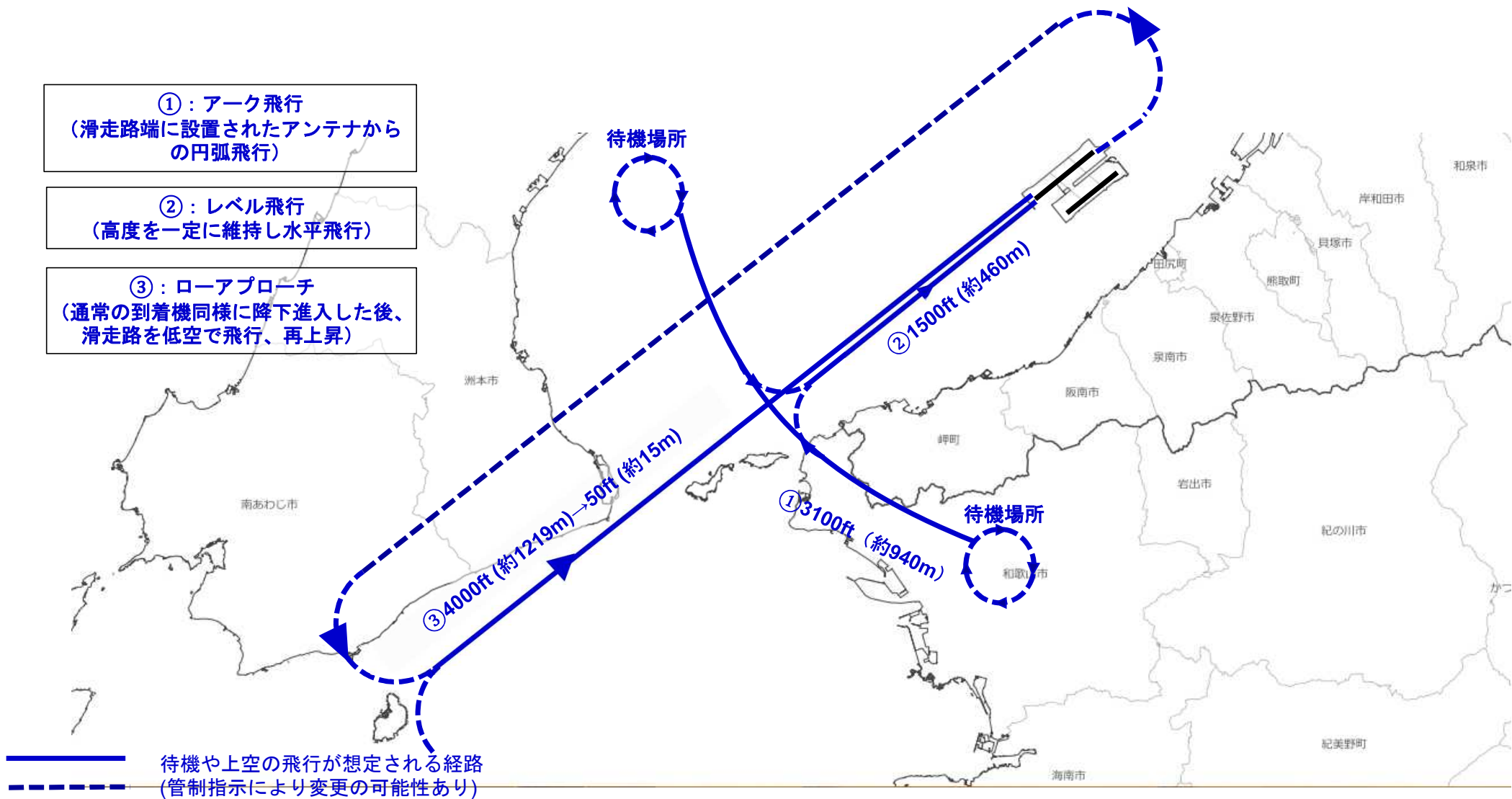
大阪航空局 関西空港事務所 総務課 TEL:072-455-1300（平日09:00～17:00）

# 関西(06L) ILS定期検査

① : アーク飛行  
(滑走路端に設置されたアンテナからの円弧飛行)

② : レベル飛行  
(高度を一定に維持し水平飛行)

③ : ローアプローチ  
(通常の到着機同様に降下進入した後、滑走路を低空で飛行、再上昇)

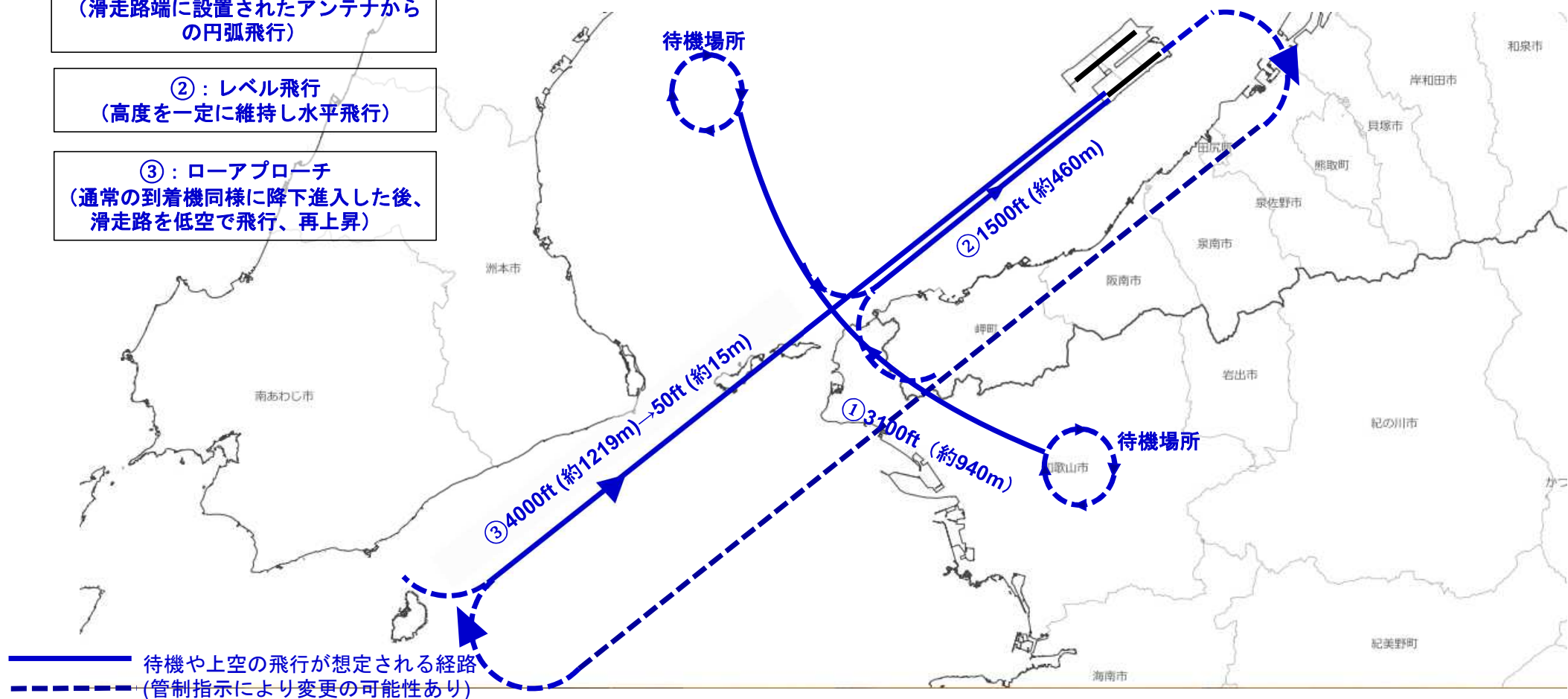


# 関西(06R) ILS定期検査

①：アーク飛行  
(滑走路端に設置されたアンテナからの円弧飛行)

②：レベル飛行  
(高度を一定に維持し水平飛行)

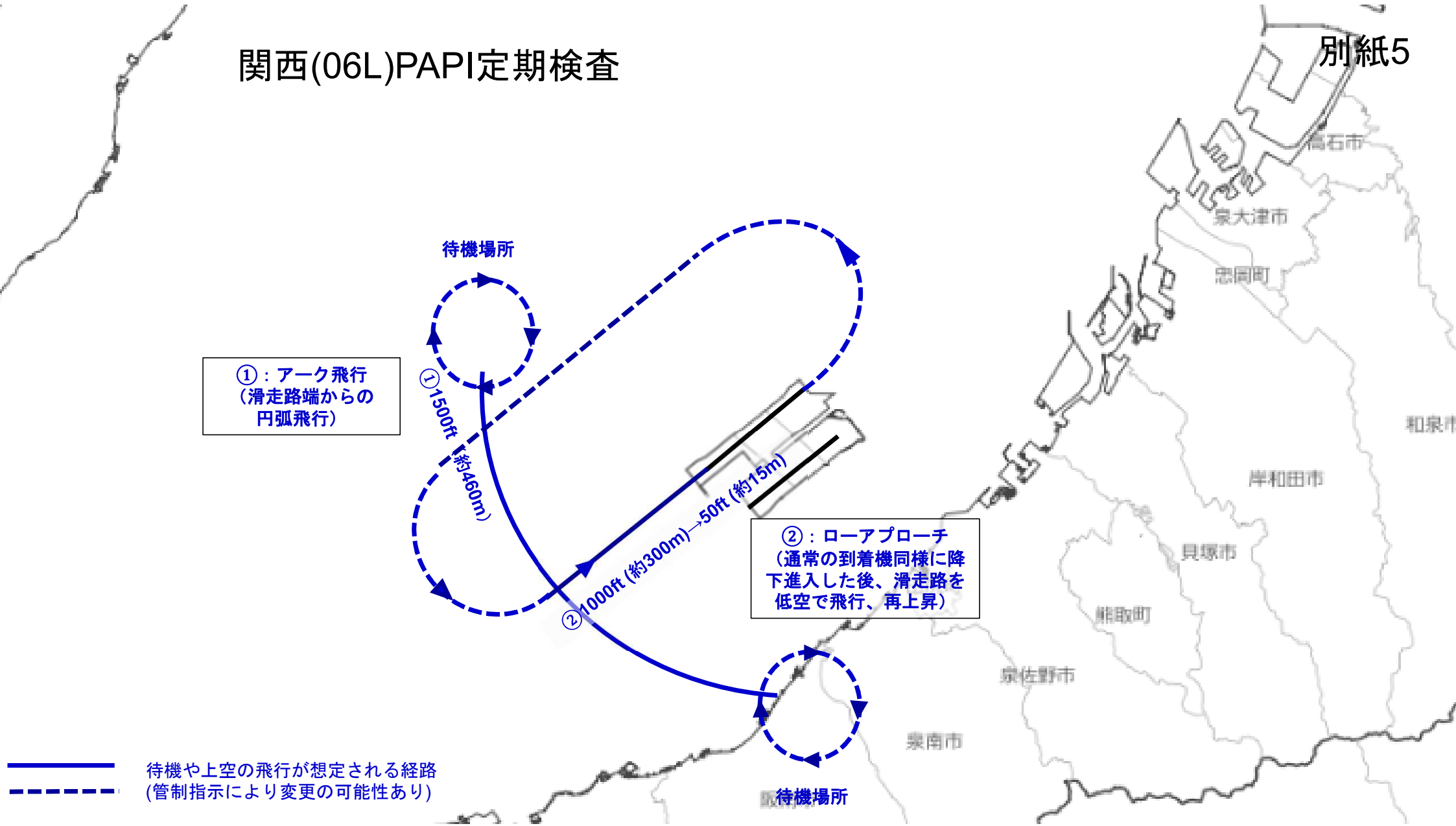
③：ローアプローチ  
(通常の到着機同様に降下進入した後、滑走路を低空で飛行、再上昇)



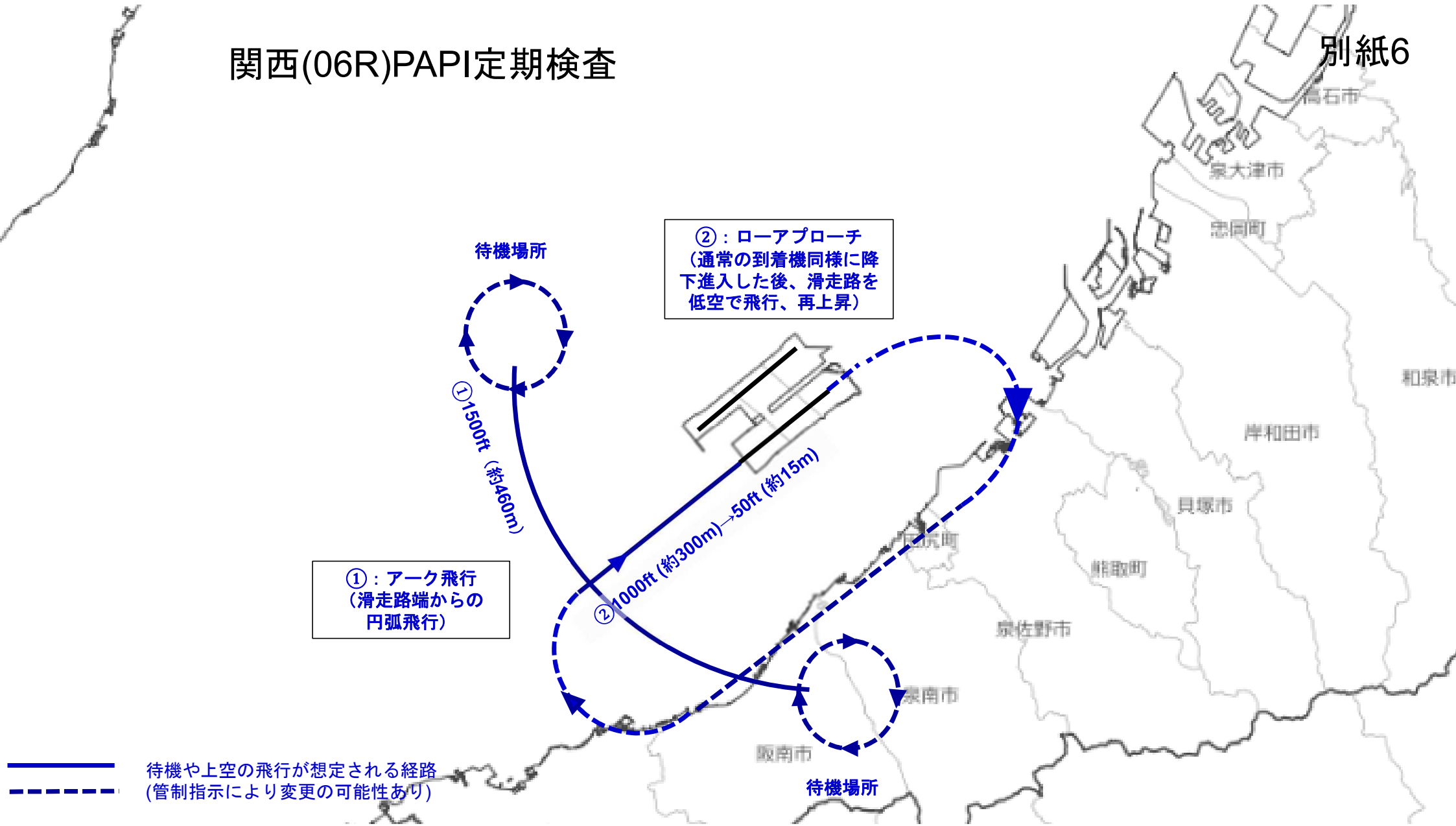




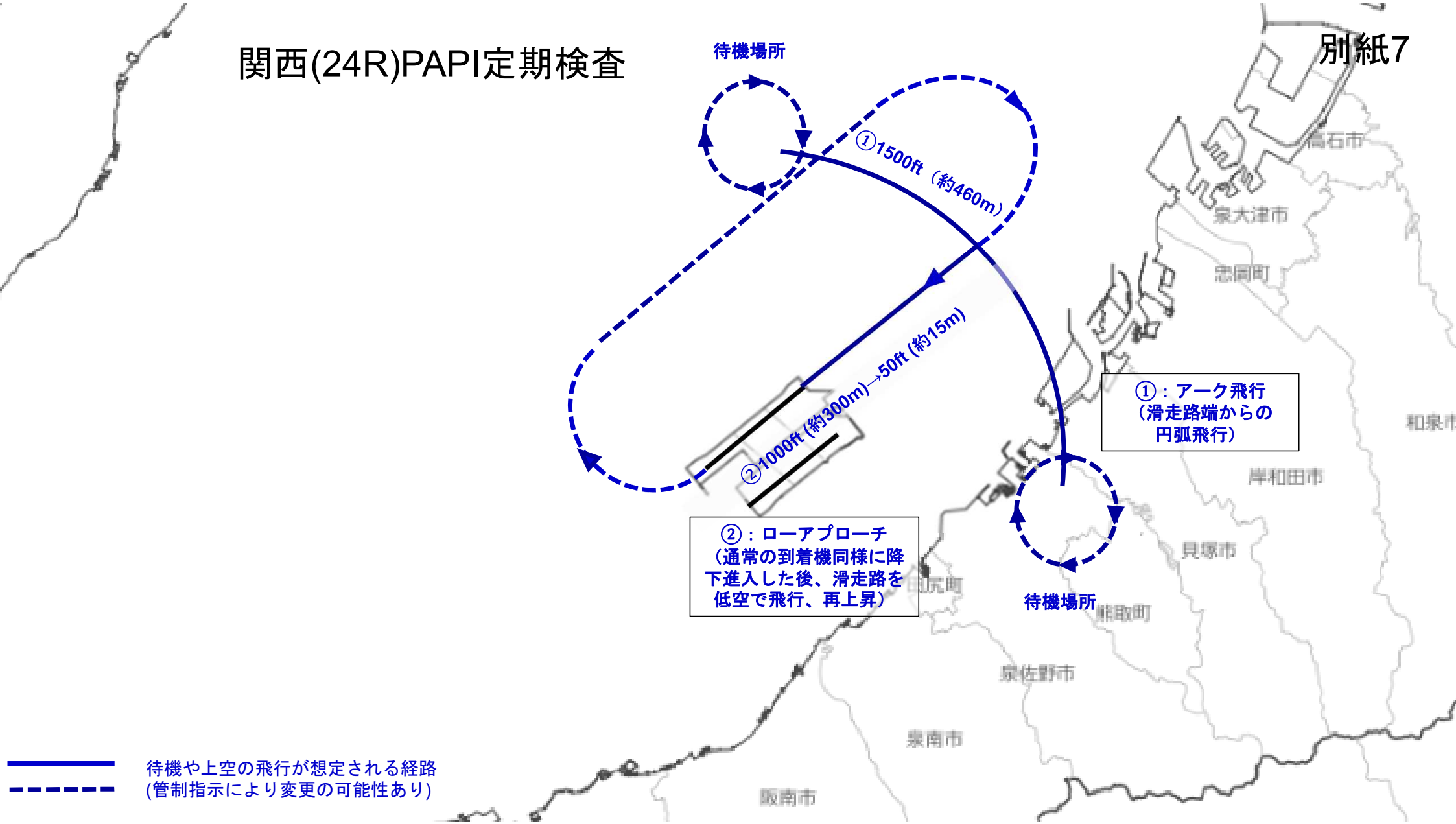
# 関西(06L)PAPI定期検査



# 関西(06R)PAPI定期検査



# 関西(24R)PAPI定期検査



待機場所

① 1500ft (約460m)

② 1000ft (約300m) → 50ft (約15m)

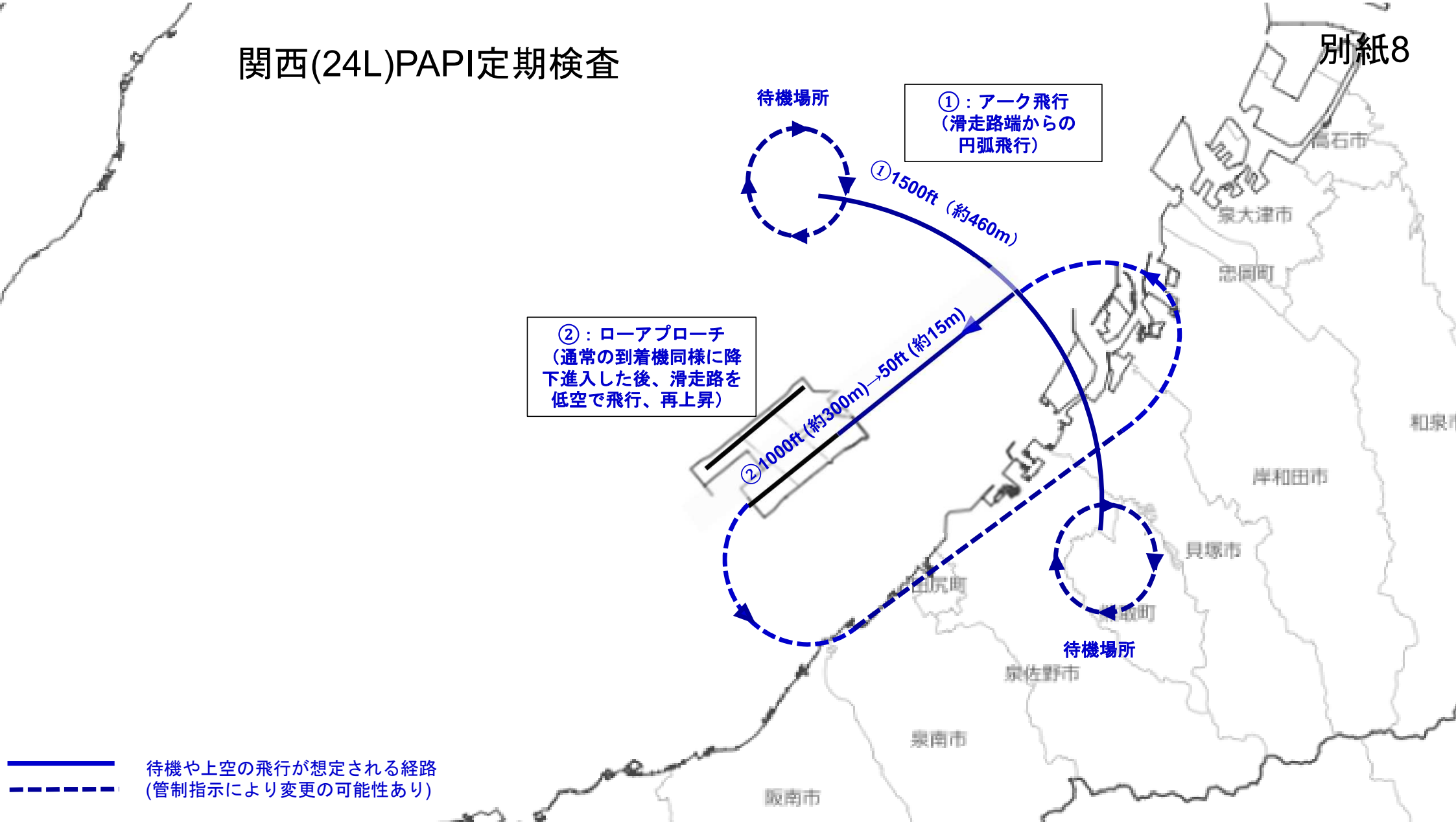
① : アーク飛行  
(滑走路端からの  
円弧飛行)

② : ローアプローチ  
(通常の到着機同様に降  
下進入した後、滑走路を  
低空で飛行、再上昇)

待機場所

—— 待機や上空の飛行が想定される経路  
(管制指示により変更の可能性あり)  
- - - -

# 関西(24L)PAPI定期検査



① : アーク飛行  
(滑走路端からの  
円弧飛行)

待機場所

① 1500ft (約460m)

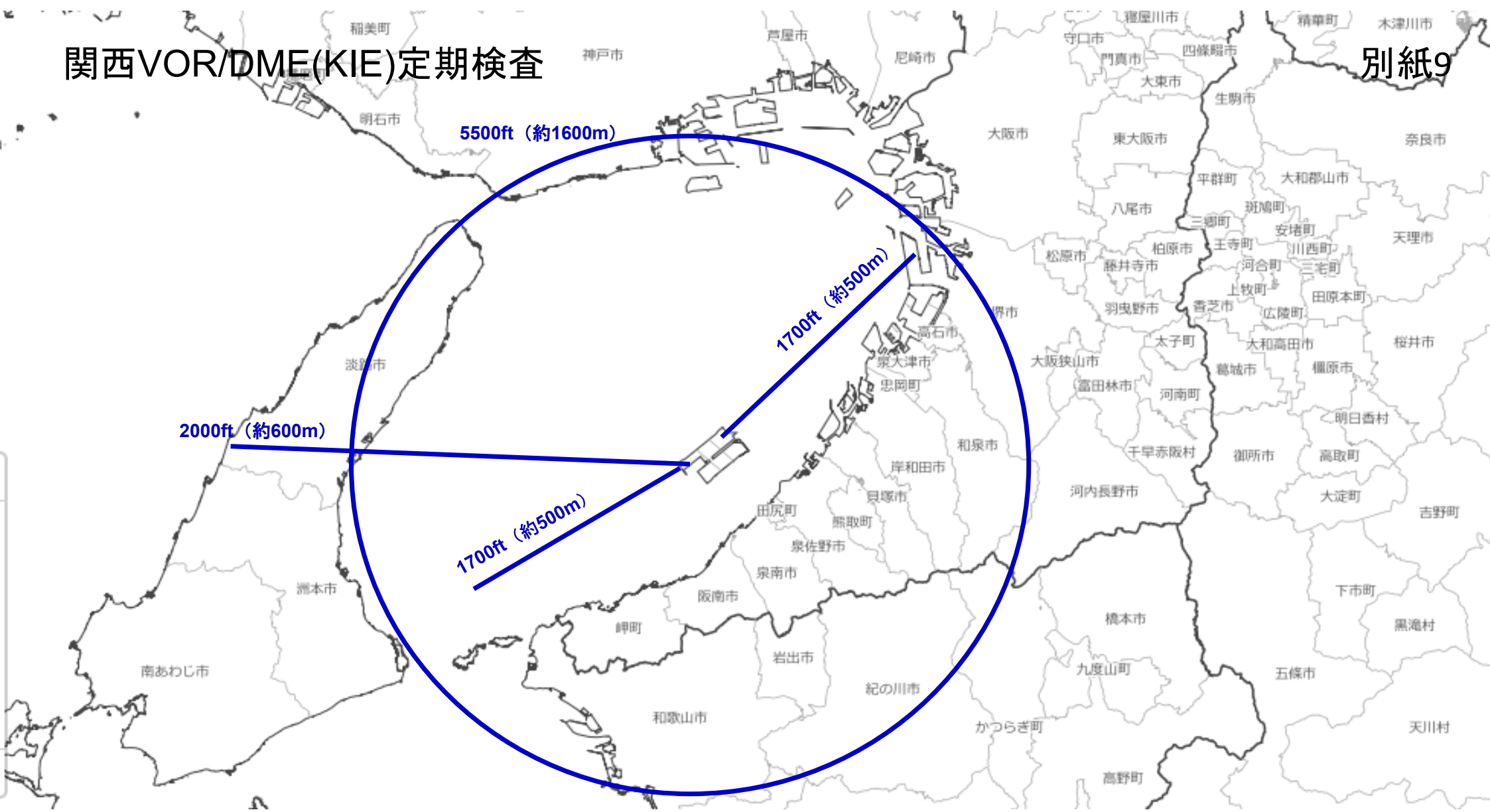
② : ローアプローチ  
(通常の到着機同様に降  
下進入した後、滑走路を  
低空で飛行、再上昇)

② 1000ft (約300m) → 50ft (約15m)

待機場所

—— 待機や上空の飛行が想定される経路  
- - - 管制指示により変更の可能性あり

# 関西VOR/DME(KIE)定期検査



# 串本VORTAC(KEC)定期検査



1600ft (約490m)

5500ft (約1680m)



# 淡路DME (AJD) 定期検査

別紙12

